

あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太
ABCDEFGHIJabcdefghij0123456789,!.?*

36Q / 48H

或曇った冬の日暮である。私
は横須賀発上り二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車
の笛を待っていた。とうに電

16Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り
二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の
笛を待っていた。とうに電燈のついた客車の
中には、珍らしく私の外に一人も乗客はいな
かった。外を覗くと、うす暗いプラットフォーム
オムにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡
を絶って、唯、檻に入れられた小犬が一匹、
時々悲しそうに、吠え立てていた。これらは

16Q / 22H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客
車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待ってい
た。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私
の外に一人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす
暗いプラットフォームにも、今日は珍しく見送りの
人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れられた小犬が一匹、
時々悲しそうに、吠え立てていた。これらはその時
の私の心もちと、不思議な位似つかわしい景色だっ

28Q / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須
賀発上り二等客車の隅に腰を下して、
ぼんやり発車の笛を待っていた。と

18Q / 23H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の
隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。とう
に電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も
乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォ
オムにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、
唯、檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそうに、吠え
立てていた。これらはその時の私の心もちと、不思議な

15Q / 18H

或曇った冬の日暮である。私は
横須賀発上り二等客車の隅に腰
を下して、ぼんやり発車の笛を
待っていた。とうに電燈のつい
た客車の中には、珍らしく私の
外に一人も乗客はいなかった。
外を覗くと、うす暗いプラット
フォオムにも、今日は珍しく見
送りの人影さえ跡を絶って、唯、
檻に入れられた小犬が一匹、
時々悲しそうに、吠え立ててい